

拝啓 7月も早や下旬、暑い夏がやって参りましたが、お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。近所の公園では、むくげの花が炎天下に華やかに咲いています。

今月は、小西先生の「ローマ人への手紙講解説教」の第15回目です。今回の7ページの「ロマ書の六つの霊的真理」の図表の注にご注目ください。

昨年秋から、石館守三先生の高円寺東教会における証言のCDを少数の有志に送るといふ仕事を始めています。昨年10月に石館基さんが、高円寺から調布市に引っ越しされた際、石館守三先生の高円寺東教会時代の録音テープがダンボールに一箱（オープンリールで約50本）出てきたが、今はオープンリールのテープは聞けないので捨てようと思う、と言われるで頂いて、インターネットでオープンリールからCDに変換してくれる業者を探し、長野県池田町にある業者に送り、テープ変換とダビングを行なっています。最初の10巻は4組制作し、石館基さん、福井の吉川京子さん、新潟の河内恵子さん姉妹と私の4人で聴いておりました。すると、吉川京子さんから、これはすばらしい証言集である、早く次を出してほしい、という催促があり、私も順次聞いてみましたところ、すばらしい証言集であることがわかりました。昭和40年代当時高円寺東教会では、月に1回の説教は、石館守三先生が分担されていました。

第2回目の変換（テープで10本、CDで20枚）の際には、少し広く呼びかけ、10組制作し、10人で聴いていました。このほど、私もそれを全部聞きましたが、どれも素晴らしい証言でした。石館先生の証言は、ヨハネ伝、ヨハネ書簡、パウロ書簡、福音書にまたがっており、その折々のご自分の経験、感想をまじえて、聖書の大切な箇所を説明するという形で述べておられます。石館先生は、薬学者、同志会理事長、海外医療協力会、クリスチャンアカデミー、笹川保健協力財団、日中医学協会など、多くの社会的活動をなさった方でありますので、聖書講解中心の小西先生とは違う趣があり、感動的な証言が多数ありました。第3回目のテープ変換とダビングを今発注していますが、15人の人が聞いて下さることになっています。

以上のように廃棄寸前であった、オープンリールのテープが生き返るといふ大事業を、吉川京子さん、河内恵子さん御姉妹の御援助とサジェッションで、自然に始めることになりました。まことに不思議なお導きを感じます。天国の石館先生も、そうか、と言って目を細めて喜んで下さるような気がします。暑い夏がやってまいりましたが、どうぞ、お身体ご自愛のほど、祈り申し上げます。

敬具

平成25年7月25日

山口周三

エンカウンターのご読者各位